

市内視察レポート



子どもたちから喜びの声も

〔総務文教常任委員会〕



人工芝に張り替えられた吉田テニスコート

市所有の「総合福祉センターたのうら燕」を平成26年にNSGグループに譲渡。「たのうら研修センター」として利用されている。市も

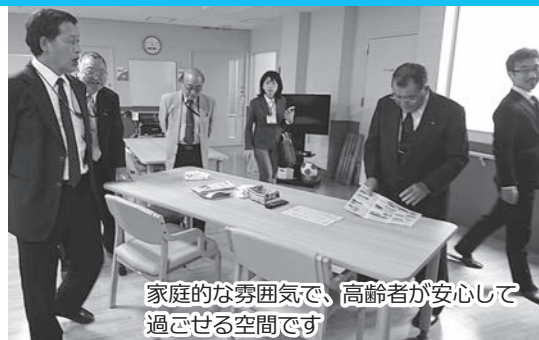
- 視察先**
- ①NSGたのうら研修センター
 - ②吉田テニスコート
 - ③吉田北小学校
 - ④スポーツランド燕
 - ⑤大曲八王寺保育園

教育委員会で使用している。その後、昨年度に人工芝の張り替え工事が終わった吉田テニスコートと、大規模改造工事後の吉田北小学校を視察した。いずれも昭和50年代の建設で経年劣化や耐震基準から整備する必要が生じていたもの。テニスコートは全5面の工事、吉田北小学校は教室棟を中心に外壁改修を実施。北小学校の視察では校長から「児童たちから大変喜ばれている。トイレがきれいになり自動ドアに驚いたようです」との説明があり、委員たちも笑顔を浮かべていた。

また、スポーツランド燕野球場の施設も老朽化が進んだことで、ダッグアウト2基の立て替え、バックネットの張り替えなどの整備事業完了後の視察を行い、利用者の利便性や観覧者の安全性が向上されたことを確認した。

家庭的な雰囲気の特養老人ホーム〔市民厚生常任委員会〕

- 視察先**
- ①特別養護老人ホーム「燕愛宕の園」
 - ②特別養護老人ホーム「遊生の町」、高齢者グループホーム「まいらいふ燕」
 - ③「つばめ療育館親子館」
 - ④燕・弥彦総合事務組合不燃物処理場
 - ⑤燕市衛生センター



家庭的な雰囲気、高齢者が安心して過ごせる空間です

今年に入って開所した、市内特別養護老人ホームを中心に視察を行った。「燕愛宕の園」（東太田）では、全室個室のユニット型で、施設内に地域交流スペースが整備されている。「遊生の町」（小関・写真）・「まいらいふ燕」（小関）では、ショートステイ、高齢者グループホームもあわせて見学。いずれも明るく家庭的な雰囲気の中で、ご利用者様の尊厳と自主性を大切に介護サービスが期待できる。

また、「つばめ療育館」（勘新）に隣接して5月に開所した「親子館」では、『自分で発達する力』を伸ばすための、子ども一人ひとりに合った療育支援を早期から親子で一緒に受けるプログラムや専門遊具について説明を受けた。

日頃の防災情報入手が減災のカギと認識〔産業建設常任委員会〕



かさ上げ工事をした笠掘ダムを視察

- 視察先**
- ①笠掘ダム（三条市）
 - ②五十嵐川遊水地（三条市）
 - ③須頃郷排水機場、須頃郷1号排水路
 - ④つばめ産学協創スクエア

産業建設常任委員会では、市内施設のほか委員会に関連する市外の施設を視察した。そのうち、三条市の笠掘ダムでは4mかさ上げを行うことにより、今までの870万 m^3 から1050万 m^3 の洪水調節容量ができる。また、治水計画とあわせてクリーンエネルギーの水力発電の重要性を考え、水資源の積極的な有効利用を図るため笠掘発電所において最大7200kWの発電を行っている。

五十嵐川遊水地事業は、三条市街地上流部に洪水調節のための遊水地を面積約40haで貯水容量は約180万 m^3 （東京ドーム約1.5杯分）の洪水を貯留することができる。近隣自治体の水源でもあるが、近年想定を超える規模の豪雨被害が発生していることでもあり、日頃からの防災情報入手が減災に結びつくことと再確認した。

